

らいふ

2017.1 No.72



「羽ばたくタンチョウヅル(鶴居村)」白石 セツ子

●年頭挨拶

●わかりやすい医学教室(産婦人科)

「子宮頸癌は予防できる!」

～がん検診とワクチン接種のススメ～

●歯科シリーズ

●がんサロン「いずみ会」のお知らせ

—— 医療法人 王子総合病院理念 ——

「私たちは、みなさまの健康、医療、
介護を信頼と愛情で支えます。」

王子総合病院理念

みなさまの人格を尊重し、安全で最善の
医療を提供します。

基本方針

1. みなさまの意思(自己決定権)を尊重した、安全で信頼される医療の提供に努めます。
2. 地域基幹病院として、職員の研鑽に努め、人間愛に満ちた高度な総合的医療の提供に努めます。
3. 地域住民や医療機関との連携を緊密にし、地域の医療、福祉、保健の向上に努めます。

ホームページ

<http://www.ojihosp.or.jp/>



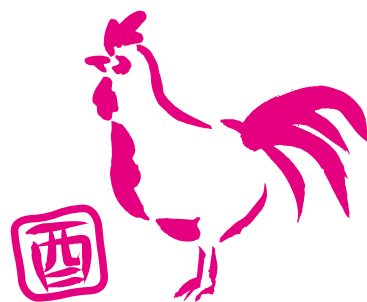
医療
法人

王子総合病院

謹賀新年



院長・理事長 大岩 均



新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては穏やかな新年を迎えられたのではないかと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、日本列島の南と北で大きな災害が起きました。4月の熊本地震では多くの人命が失われ、家屋、建物にも大きな被害がありました。最初の地震が前震で、2日後の地震が本震であると報道され、前震というものがあること

を初めて知りました。過去の経験では、本震の後に本震より規模の小さい余震が断続的に続くものと考えておりました。この本震により熊本城も甚大な被害を受け、県民の心に大きな衝撃を与えました。熊本城の復旧には20年掛かるとも言われています。現在、熊本城の復旧、復元に向けて「復興城主」になれる制度がスタートしたようです。私も僅かではありますが支援しようと考えています。続いて8

月には4つの台風が立て続けに北海道を来襲、3つが上陸し道東を中心に甚大な被害をもたらしました。玉ネギ、ビート、イモなどの農作物が水に流され農家は大変な痛みを受けました。土地が流され、来年の作付にも支障が出る地域もあるようです。道路、J.Rの路線も被害を受け道東と道央がまだ寸断されたままになっています。胆振でも被害はあったようですが、道東の被害に比べると規模は大きくなかった

ようです。日高でも大きな被害がありました。JR日高線の被害はさらに拡大し日高線の存続にも大きな影響を与えています。このところ毎年国内のどこかで自然の猛威による被害が出ています。災害に対する心構えを常に持ち、災害訓練などで慣れなくては地球温暖化の影響なのか、あるいは地球の長い歴史における自然の成り行きなのでしょうか。また、海外に目を向けてみますと、

1月にいよいよドナルド・トランプ氏がアメリカ大統領に就任します。イギリスの国民投票によるEU離脱にもびつくりしましたが、次期大統領にトランプ氏が選出されたことにも世界中が驚いたのではないのでしょうか。選挙前の暴言は、選挙戦を勝ち抜くためのマスコミ操作の手管であったとも言われていますが、就任後の発言が気になるところです。トランプ大統領となつて、アメリカ経済が好調になり日本経済にも好影響が出ると思いますが、果たしてどうなるのか注目すべき1年になりそうです。

さて、昨年8月に厚生労働省は「喫煙の健康影響に関する報告書」いわゆる「たばこ白書」を15年ぶりに改訂し発表しました。喫煙と病気の因果関係を「確実」「可能性あり」「不明」「無関係の可能性」の4段階で評価し、喫煙は「がん」だけでなく脳卒中や心筋梗塞、糖尿病などで因果関係が「確実」としました。また、日本の受動喫煙対策

はG7諸国で最悪だったとし、屋内の全面禁煙などの対策が必要とまとめています。最近日本の喫煙率は年々下がつて来っていますが、全体で19・3%、男女別では男性29・7%、女性9・7%（平成28年、JT発表）と報告されています。北海道全体の喫煙率は27・6%で全国第2位のようにです。では苦小牧はどうなのでしょう。5年ほど前に当院の健診センターで健診を受けた受診者約4、200名の質問票から喫煙率を割出したことがあります。全体の喫煙率は44%、男女別では男性50%、女性26%という結果になり、大変高い喫煙率にびつくりいたしました。現在ではもう少し下がっているのではないかと願っています。苦小牧はかなりの高喫煙率地域と言えるでしょう。今回の白書では喫煙の影響を様々な疾患について評価しています。喫煙者本人には肺がんなどのがん以外にも、腹部動脈瘤や歯周病など「確実」に関係するとし、妊婦の

喫煙は早産や胎児の発育遅延などにも「確実」に影響していると報告しています。白書は受動喫煙も健康に悪影響を及ぼすことを強調しています。日本では受動喫煙が原因で肺がんや心筋梗塞、脳梗塞で死亡する人が1万5千人に達すると推計されています。3年後には東京オリンピックが開催され、世界各国から多くの人々が日本にやって来ます。人が集まる公共の場では受動喫煙対策として喫煙室を設置するのではなく、屋内100%禁煙化を目指すべきなのでしょう。愛煙家の皆さんにとっては益々肩身の狭い思いをする事になるのではないのでしょうか。その前に思い切つて今年から禁煙してみませんか。

次に病院の事について少しふれておきます。昨年1月に南棟を増築し、外来の一部と血液浄化室が移設いたしました。患者さんの皆さんにはゆつたりとしたスペースで診療を受けられるようになったかと思ひます。引き続き

昨年9月から院内の改修工事が始まり、院内が騒がしくなっております。呼吸器内科、循環器内科、内視鏡室の移動、元の血液浄化室が外来化学療法室に代わるなど今年11月頃まで工事が続きます。改修工事が済んだ場所から移動が始まります。患者さんの導線が変更になり、戸惑うことがあるかと思いますが、職員などを配置し不都合が起きないように対応させていただきます。このところ毎年このようなお願いをしてきたかと思いますが、今年で二段落し病院の中も落ち着くのではないかと考えております。

終わりに今年が皆さまにとりまして希望に満ちた明るい年になる事をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶に代えさせて頂きます。本年も王子総合病院をよろしくお願い致します。



わかりやすい医学教室

特集

子宮頸癌は予防できる!

～がん検診とワクチン接種のススメ～

産婦人科 山口 正博

病気の「予防」とは



山口 医師

病気の予防というと一般的には「病気になるまい事」を想像されるかと思いますが、予防医学の領域では二次予防、二次予防、三次予防の3つに大別されます。一次予防は一般的なイメージの「予防」にあたり、病気の発生自体を抑えることです。二次予防は早期発見・早期治療、三次予防は治療後の後遺症予防やリハビリなどにあたります。もちろん三次予防よりも二次予防、二次予防よりも一次予防のほうがより重要なことは言うまでもありません。

糖尿病や高血圧の予防に健康な食生活や運動、ポリオや風疹などの小児期の予防接種などで皆さんも無意識のうちに二次予防

を実践されているかと思いますが、がんが予防できる疾患であることはあまりイメージにないのではないのでしょうか？ もちろん、がんの予防として禁煙や健康な食生活、がん検診はとても大切ですが、それだけでなく、実はある種のがんは微生物の感染が原因で発生することが分かっています。一次予防が可能です。代表的なものは胃癌でヘリコバクター・ピロリ菌の感染が原因です。また、子宮頸癌はヒトパピローウイルス（HPV）の感染が原因です。

HPVと子宮頸癌

HPVにはたくさんの型があり、その一部が子宮頸癌の原因となるハイリスク型です。特に重要なものは16型・18型の2種類で、子宮頸癌のおよそ70%から検出されます。HPVは性交渉により感染しますが、きわめてありふれたウイルスであり女性の80%が50歳までに感染するといわれています。ただHPVの感染がす

べて子宮頸癌に進展する事はない、ほとんどは自然に排出され、持続感染から癌化に至るのはごく一部です。癌化にはおよそ7～10年以上かかるようです。日本では年間約10000人が子宮頸癌を発症し、約3000人が

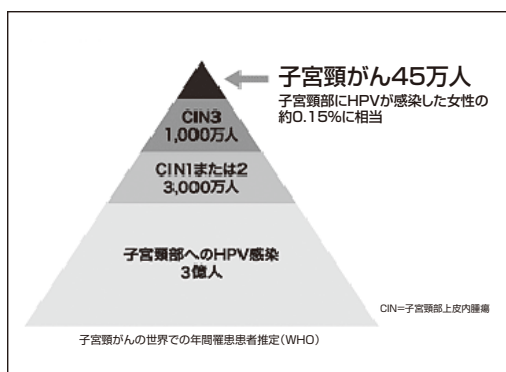
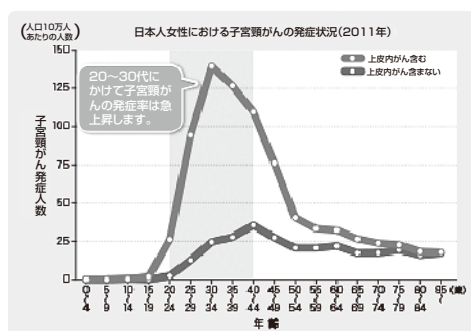


図:HPV感染と子宮頸部病変の発生割合



図：子宮頸がんの発症状況(日本人女性)
国立がんセンターがん対策情報センター、
人口動態統計(厚生労働省大臣官房統計情報部編)

亡くなっています。最も発症率が高いのは30代～40代であり、若い女性が患うがんの中で最多です。

子宮頸癌の二次予防

【ワクチン接種】

HPVを発見したドイツ人学者が2008年にノーベル医学生理学賞を授賞しました。これはHPVワクチンが開発され子宮頸癌が予防できるようになった事が大きな理由であると思われるます。日本では2種類のワクチンが使用でき、いずれも16型・18型の2種類を予防できます。一度でも性交渉があると感染の可能性があるのです、重要なことは初交前にワクチン接種を行うことで、中学生頃の接種が推奨されています。初交後でもHPVに感染していなければ接種できます。世界保健機構（WHO）が国家プログラムによるHPVワクチン接種を強く推奨しており、世界129カ国でHPVワクチンが認可され、2億3千万回以上の接種が行われているようです。

仮に世界中の全員（男性も含め）がHPVワクチンを接種した場合、子宮頸癌は撲滅する可能性すらあります。

子宮頸癌の二次予防

【がん検診】

子宮頸癌は、ごく初期の上皮内癌（＝CIN3：癌の二歩手前）でもがん検診によりかなりの確率で見え、上皮内癌であればほぼ100%の確率で治癒が可能です。原則1～2年に1度の受診が勧められています。診察自体は、内診の器械を使つて子宮頸部の細胞をこする（細胞診）だけで1分もかからずに終わります。仮に軽度の異常が出た場合、当院ではHPVの検査も積極的に行つており、精密検査や治療の必要性を判断します。この検査も細胞診と同じ手技ですがに終わります。最近では欧米では細胞診よりもHPV検査を重視する傾向にあり、HPVハイリスク型が陰性であれば検診の頻度を大幅に減らすことが可能

になるだろうと思われます。

子宮頸癌予防 における日本の現状

欧米での70～80%台というがん検診受診率に比べて、日本では30%程度と低い事が問題です。受診率の低い理由は①婦人科を受診しにくい②仕事・学業・家事などで忙しい③自分は大丈夫だろうという楽天的な考え④がん検診の存在や必要性を知らないなどいろいろ考えられますが、おそらく欧米との一番の違いは④の無知にあると私は考えます。HPVワクチンについても危機的状況であり、2013年4月からHPVワクチンの定期接種が開始されましたが、慢性疼痛などの副反応を訴える少女達の報道が相次いでなされ、わずか2か月あまりで積極的な勧奨が中止されました。その結果ワクチン接種者は激減し、札幌市では70%ほどあった接種率が0.6%まで低下したとの事です。その後の調査でも慢性疼痛・運動障害等

の副反応とワクチンの因果関係を示す科学的根拠は見出されず、日本産科婦人科学会からは積極的な接種勧奨を再開するよう声明が出されたり、WHOからも日本の状況を危惧する声明が出されたりしている状況です。

終わりに

ワクチンの副反応を訴える方々の報道は多くなされる一方、子宮頸癌で若くして亡くなった方や妊娠を諦めざるを得なくなった方々の報道はされません。科学的根拠で救われるこれらの患者さんを、非科学的な根拠で見捨てて本当によいのでしょうか？現状ではワクチン接種・がん検診はすべて自己判断となっています。一度でよいですので、自分自身、ご家族や周囲の方とも子宮頸癌の予防について考える機会を持っていただき、受診していただければと強く願います。

「がん相談支援センター」 「がん看護相談」をご活用ください

がん相談支援センター (月～金)

相談時間

8:30～16:50

電話:0144-32-8111
(内線263・390)

がん看護相談 (月～金)

エントランスホール6番窓口

相談時間

10:00～11:30
13:30～14:30

当院はがん拠点病院として、がんに関する情報提供、相談を行っています。

センターでは、がん医療に詳しい認定看護師や生活全般の相談ができるソーシャルワーカーが相談員として対応しています。相談方法は面接、電話を問いません。

患者さまやご家族のほか、地域の方々はどなたでも無料でご相談できますので、ぜひご利用ください。



シリーズ

第52回



中高年層は、歯の根元の
むし歯に要注意ください

人生にはむし歯に
かかりやすい時期が
3度あります。最初
は乳歯が生える時、



歯科衛生士
井馬 加奈美

次に永久歯が生える時、そして3度目が中高年期。最初の2つのむし歯が歯の表面（エナメル質）にみられるのに対し、中高年のむし歯は歯の根元（象牙質）に目立ちます。これは年とともに歯周病などが進み歯肉が下がり、歯の根元が露出してくるためです。

歯根部分の象牙質は、歯の表面を覆うエナメル質よりも酸に弱くて溶けやすい性質です。歯肉が下がったぶん、むし歯のリスクが高まります。そのためにも歯周病の予防は大切なのです。また年をとると唾液の分泌が減ることもむし歯になりやすくなる一因です。

健康な歯と歯肉を保つこと、そして唾液をよく出すことを意識して、よく噛んで食べるよう心がけてください。

(日本歯科医師会「朝昼晩」より一部抜粋)

井馬 記

外来診療案内

平成28年12月20日現在（都合により変わる場合があります。）

		月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日		金 曜 日	
		午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後
		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
内 科 診療開始 9:30/13:30	内 科 診療室		藤 瀬			藤 瀬	石井（循） （出張医）	藤 瀬		藤 瀬 予約患者のみ	
循 環 器 内 科 診療開始 9:30/13:30 新患受付 午前 11:00 まで	1 診	伊 藤		堀 田		伊 藤	大畑／堀田 （ペースメーカー外来）	大 畑		堀 田	
	2 診	大 畑		吉 田		神 山		吉 田		大 畑	
	3 診	大 岩		大 岩		大 岩					
	4 診	加 藤		松 本		加 藤		松 本		神 山	
神 経・精 神 科	4 診										出張医 注④
呼 吸 器 内 科 診療開始 9:30/13:30 新患受付 午前 11:00 まで	1 診	中 村	菊 地 （出張医）	河 井	猪 狩	中 村		河 井	鈴 木 （出張医）	河 井	猪 村 （出張医）
消 化 器 内 科 診療開始 9:30 新患受付 午前 11:00 まで	3 診	奥 田		伊 藤		山 田		伊 藤		山 田	
	4 診	南		濱 口		南		佐 賀		奥 田	
	5 診	出張医		高 橋		出張医		出張医		濱 口	
血液腫瘍内科 新患受付 午前 11:00 まで	2 診	小 野 （移植外来）	蟹澤 （移植外来）	蟹 澤	出張医	小 野	蟹 澤	蟹 澤	小 野		不 定
外科・呼吸器外科 診療開始 9:30/14:00	2 診	狭 間	真 木	鯉 沼		狭 間	高 橋	岩 井 （11:00 まで）		渡 邊	鯉 沼
	3 診	渡 邊		岩 井 （11:00 まで）		岩 井	岩 井 乳腺外来 新患のみ	真 木		高 橋	岩井 緩和ケア外来 完全予約制 13:30～15:00
心臓血管外科 診療開始 9:30	1 診	牧 野				牧 野				飯 島	稗 田 （静脈瘤外来）
脳 神 経 外 科 診療開始 9:30 受付 11:00 まで	1 診	外 山	外 山 予約患者のみ 新患のみ	大川／菅野 （出張医）	外山／本間 MRI・新患のみ 予約患者のみ 不定期	三上／鰐淵		外山／宮田 不定期	外山／宮田 新患のみ 予約患者のみ 不定期	本 間	本 間 新患のみ 予約患者のみ
神 経 内 科	2 診					下瀬 （出張医）（認知症） 隔週完全予約制		久 原 （出張医）			
整 形 外 科 診療開始 9:00/13:30 受付 11:00 まで	1 診	鈴 木	鈴 木 （スポーツ外来）	鈴 木		鈴木／西尾 （奇数日／偶数日）		鈴 木	西尾 （スポーツ外来）	西 尾	
	2 診	西 尾		松 前		松 前		西 尾		松 前	
産 婦 人 科 診療開始 9:15/14:00	1 産	田 中	不 定 （1ヶ月検診）	橋 本		山 口		勘 野		野 村 受付 10：00 まで	
	2 婦	野 村		勘 野		野 村		山 口		田中／橋本	
	3 診	不 定		不 定		不 定		不 定			
眼 科 診療開始 9:00 受付 11:00 まで	1 診	北 谷		北 谷		北 谷	北 谷 予約患者のみ	北 谷		北 谷	
	2 診	栗 山		栗 山		栗 山	栗 山 予約患者のみ	栗 山		栗 山	
耳 鼻 咽 喉 科 診療開始 9:00/14:00 受付 11:00 まで	1 診	大 高		大 高		大 高		大 高		大 高	大 高
	2 診	佐々木 第4週は1診のみ		佐々木 第4週は1診のみ		佐々木		佐々木		佐々木	佐々木
皮 膚 科 診療開始 9:30 受付 11:00 まで	1 診	出張医 新患は紹介のみ				出張医 新患は紹介のみ				出張医 新患は紹介のみ	
泌 尿 器 科 診療開始 9:00/14:00	1 診	田 口		加 藤	不 定 予約患者のみ	田 口		不 定	不 定 予約患者のみ	不 定	
	2 診	不 定		不 定		不 定					
小 児 科 1 診 診療開始 9:00 2 診 診療開始 9:30 3 診 診療開始 10:00	1 診	小 林	福 島	小 林	不 定 （エコー外来・予約）	小 林	不 定 〈乳児健診〉 〈予防接種〉 14：00開始	近 藤		小 林	近 藤
	2 診	福 島	小 林 （神経外来・予約）	福 島		近 藤 （10:30～）		出張医 不定	不 定 〈予防接種〉	出張医 不定	
	3 診		不 定 （1ヶ月健診・予約）				石 津 （内分科） 月1回・予約患者のみ		13：30～14：30		
	4 診				泉 心臓外来 月1回 予約患者のみ		岡 本 腎臓外来 月1回・予約患者のみ				
放射線治療科 診療開始 9:00/13:30	2 診	出張医	不 定	北 原	北 原	北 原	北 原	北 原	北 原	出張医	不 定
麻 酔 科 診療開始 9:00 新患者受付 午前 11:00 まで	1 診	田 中				渡 辺				田 中	
	術前診察										
歯 科 診療 9:00～16:00	1 診	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田 14:00～
	2 診	出張医	出張医	出張医	出張医	出張医	出張医	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田 14:00～

【ご注意】

- ①都合により診療時間、医師が変わる事がありますので、あらかじめご了承下さい。
 ②初診受付時間、午前（8：30～11：00）午後（13：00～15：00）
 但し、各診療科及び医師により異なる場合があります。

- ③再来機受付時間、午前（7：00～11：30）午後（12：15～15：00）
 ④神経・精神科と神経内科は、当院他科医師の紹介が必要。新患は受け付けていません。
 ⑤歯科は予約制になっております。

がんサロン いずみ会のお知らせ

『がん患者交流サロン
いずみ会』は

がん患者さんご家族の集う場所です。

- 対話を通し、不安や悩みを緩和する場所
- 患者・ご家族同士が、親睦を図る場所
- がん医療に関する情報交換が出来る場所

時 間▶13:30～15:00(開場13:15)

第2火曜日 ★13:30～14:00 ミニレクチャー
★14:00～15:00 おしゃべり会

場 所▶王子総合病院がん相談支援センター

参加費▶無料 ※直接会場にお越しください。

お問い合わせは

電話0144-32-8111(内線263・390)

がん相談支援センターまで

がん医療に対する
情報交換や、同じ境
遇の方々との対話
を通し、よりよく過
すきつかけを見
つけませんか。

開催日	ミニ講座と交流会を組み合わせ開催
1月10日(火)	病気を知ろう!～前立腺がんについて～
2月14日(火)	気になる医療費・生活を支える制度
3月14日(火)	がんの治療を知ろう!～薬物療法って、どんな治療?～
4月11日(火)	病気を知ろう!～大腸がんについて～

予防健診の
お知らせ

●健診日：月曜から金曜日

●時 間：午前8時～
12時頃まで

1. 一般健診 22,831円
2. 日帰り人間ドック 30,240円
3. 追加項目
 - ①乳がん検診
(2方向 5,657円・1方向 4,629円)
 - ②子宮がん検診 5,997円
 - ③PET-CT検診 94,629円
 - ④その他
4. その他

お気軽に
お問い合わせ下さい

申込み・問合わせ先

健診センター：
☎0144-32-8111(代)
内線 295・296

表紙写真の募集

条件

- 1人何点でも結構です。
- 風景写真(人物が写っていないもの)
- カラー写真
- 原則として応募写真は返却いたしません。
(返却ご希望の方はお申出下さい。)

応募方法

- 写真の裏にタイトル、住所、氏名、電話番号を記入願います。
- 提出先は「らいふ」事務局まで。
- 採用の方には「らいふ」郵送にて発表します。
お写真下にお名前を掲載させて頂き、粗品を進呈いたします。

糖尿病教室のお知らせ

下記の日程で開催します。参加費
どなたでも参加できます。無 料

お気軽にご参加ください

○開催日：平成29年 1月20日(金)
2月17日(金)
3月17日(金)
4月21日(金)

○時 間：午前10時30分～

○場 所：王子総合病院 講堂(3階)

○講 師：医師、理学療法士、薬剤師
管理栄養士、看護師
歯科衛生士、臨床検査技師

※直接会場においで下さい。

※講師の都合により開催中止の場合もありますので
電話にてご確認ください。

問合わせ先

療養指導室：☎0144-32-8111(代)内線262

「らいふ」の掲載内容についてご意見、ご要望がございましたら遠慮なく事務局までお申しつけ下さい。